



平成 19 年 4 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社ビーイング
代表者名 代表取締役社長 津田 能成
(JASDAQ コード 4734)
問合せ先 経理部長 後藤 伸悟
(TEL . 059 - 227 - 2932)

平成 19 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 2 月 7 日付当社「平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況(非連結)」において発表いたしました平成 19 年 3 月期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1 . 平成 19 年 3 月期業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位 : 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	2,380	100	85
今 回 修 正 予 想 (B)	1,930	420	440
増 減 額 (B - A)	450	520	525
増 減 率 (%)	18.9	-	-
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 3 月期)	2,160	105	417

2 . 修正の理由

業界 No . 1 ソフト の土木積算ソフト『Gaia』は、前年と同水準の販売本数を継続いたしました。競争の激化により販売価格が下落したこと、また、第 4 四半期より急速な売上拡大を見込んでいた『BeingManagement-CCPM』が、さまざまな業界からの活発な引き合いがあることに加え、公共建設事業全体にかかわる“三方良しの改革”の鍵を握る存在として認知され、その展開のスケールがきわめて大きいものとなってクロージングが遅れる傾向となったことから、売上高は計画を下回る見通しとなりました。

また、主力の土木業向けアプリケーション事業において、他社にない機能である『日

当り施工量オプション』を新たに投入し、収益性の向上をはかりましたが同時に、裾野の広い一般産業向けに展開をはかっているプロジェクト・マネジメント事業において、市場での圧倒的な優位を確立するための初期投資を集中的に行いましたため、経常利益・当期純利益は計画を下回る見通しとなりました。

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なることがあります。

以 上

「建設 IT ガイド 2007」「積算ソフト利用実態調査」(財団法人経済調査会)による